

ワタシたちの趣味は…
ガーデニング
滝川幹夫さん(72歳)
美代子さん(69歳)



苗を作ったり花の手入れをしたりと、土いじりが日課。夫婦円満の秘訣は「言いたいことを言う」。そんなスタイルが、健やかな心と身体の維持に繋がっているそう。

花と緑に囲まれて。夫婦で歩む第二の人生

元々、美代子さんの趣味だったガーデニング。幹夫さんの56歳での退職をきっかけに、共通の趣味となり、夫婦で「庭作り」が基盤となる人生をスタートさせた。「花を通じて社会貢献したい」と思い、ボランティア活動もはじめました。庭を開放し一般公開するオープンガーデンの普及活動のほか、市の花関連事業へも積極的に参加しています。2013年に仲間と共に設立した「浜松オープンガーデンの会」では初代代表を務め、園芸講座での講師も行うなど多忙な日々を過ごしている。



ビビッドカラーの花々が華やかな幹夫さんのお庭「ゴタガーデン」。「土を触り、自然と関わることは、健康に良い影響があると思います。手作業なのでホケ防止にも最適」と話す幹夫さん。



美代子さんの手掛ける「アリスガーデン」。バラが華麗に咲き誇りグリーンが風に揺れる、癒しの庭園。夫婦二人でガーデニングをはじめて30年、数々のコンクールでの受賞も経験してきた。

恵まれた自然環境・文化の発展…

趣味にハマれる

生きがいと思える趣味を持ち社会と関わることは、心と身体への健康作りにも繋がる。豊かな自然環境はしかり、世界屈指の産業や文化が根付く浜松なら、あらゆる趣味の実現が可能だ。花や植物の栽培、自然のスポーツ、そして音楽。趣味を楽しむ人々にクローズアップする。

海のそばで暮らし、サーフィンを楽しむ毎日



「サーフィンとの出会いは19歳のとき。趣味が高じて仕事にしてみました」という高井さん。元々は関西でアパレル店を営んでいたが、サーフィショップへ転職。16年前に浜松へ移住し、現在は市内のスポーツショップで働いている。念願だった海の近くにも引越して、サーフィン一色の毎日を過ごしている。



ワタシの趣味は…
サーフィン
高井俊康さん(64歳)

サーフィン歴45年の高井さんが、3年前に病気を患って制限せざるを得なかったことも。海へ入ったらみるみる回復したそう。現在、砂丘で有名な「中島島」に居住し、海と寄り添いながら暮らしている。



車、ファッション、音楽など、若い頃から多趣味な高井さん。愛車の1979年式メルセデス・ベンツ300Dにサーフボードを乗せて海まで走る。「スマートに年を重ねていきたいですね」と話す高井さん。



「オシャレなのじゃ」



「皆バワフルじゃのっ」

浜松オープンガーデンの会
<http://hamaog.hamazo.tv/>

ワタシの趣味は…
音楽
相澤孝男さん(65歳)



体力作りの目的で、ロードバイクやスキー、サーフィンをはじめた多趣味な相澤さん。町内で自転車部を作り仲間と一緒に浜名湖1周をすることも。楽しむコツはスティックにならず自分でできる範囲でやること。興味があるものは何でもチャレンジすることが、若さの秘訣のようだ。

ライブが生きがい！日々の練習も楽しむ

子育てがひと段落し50代後半からはじめた、ギターとバンド活動。若い頃に経験したものの、長いブランクもあり初心者に近い状態からのスタートだった。まずはSNSサイトで仲間を募り、現在のメンバーと出会った。以来、自分より20〜30歳も若いメンバーと練習を重ね、地元音楽フェスでのライブを中心に活動している。「自分より若い人たちがとっちらかすことで、刺激をもらってます。皆自分よりスキルがありますから、必死で練習しています(笑)」。

他県で暮らすメンバーもいるため、基本は自主練習だ。織布テープの加工工場を営む相澤さんは、仕事も忙しくいまだ現役。毎日30分間を作り、ギターの練習を重ねる日々を送っている。「モノづくりの職人仕事と一緒に、練習を積み重ねて少しずつレベルアップしていくのが楽しいんです。面倒くさがって何もやらないでいると、人間は退化していきましますね。良い健康法になっていますよ」。



「ALL BLOOD」という長瀬剛のコピーバンドで活動中。メンバーは6人。浜松の音楽フェス「やらまいかミュージックフェスティバル」には、第1回から出場しているそう。 「ALL BLOOD」ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/allblood2007>

趣味を深める！浜松info

趣味を極めた スーパーおじいちゃん・おばあちゃん

ボウリング 森さちゑさん(69歳)

知人の誘いで始めて以来、ボウリング歴20年になる森さん。全国大会での入賞を目標に掲げクラブでの練習を地道に重ねていった。その努力が実り、2014年は全日本シニアボウリング選手権で優勝。その後、四十肩に悩まされながらも2015年のねんりんピックで優勝という素晴らしい成績を取めた。「全国に友人ができることも楽しみのひとつです。ボウリングは天候に関係なく、高齢になってもできるスポーツ。健康作りには最適なんです」。



スラックとした脚が素敵なおばさん。ミニスカート履けることもボウリングならではの楽しみだそう。練習は週に3回。日中は地元の豆腐屋で働きながら、夜は練習、という日々を過ごす。

彫刻 鈴木秀育さん(73歳)

60歳からはじめた彫刻が、市や県の芸術祭や日展で入選。2015年には、ねんりんピック美術展で銅賞、静岡県すこやか長寿祭美術展で県知事賞入選を果たすなど、次々と華やかな成績を収める鈴木さん。55歳で通信制の高校を卒業し、大学へ入学。美術とは無縁の人生だったが、在学時に出会った彫刻にのめり込み、現在も精力的に創作を続けている。美しいものを求める意欲と好奇心を常に持つことが、感性豊かな作品を生み出す秘訣だそう。



6年通った大学では教員免許まで取得。毎朝3時から勉強し、仕事と両立させたという努力家の鈴木さん。アトリエは自身が経営する金型工場。仕事もいまだ現役で合間をみても創作に励む。夢はイタリアへの留学。

Flower&green
オープンガーデンはままつ庭めぐり

浜松市は、気候が温暖で植物の栽培に適した土地。ガーデニングを趣味とする方が多く、個人宅のお庭を一般開放する「オープンガーデン」の活動も盛ん。庭主さんが丹精込めて作り上げた美しい庭を見学できる。春と秋には、浜松公園緑地協会が主催する「はままつ庭めぐり」が行われ、通常予約が必要なお庭にも気軽に立ち寄れる。
【春のはままつ庭めぐり2016】5/13(金)~15(日)開催
問:浜松公園緑地協会 ☎053-411-6687
<http://www.hama-park.or.jp/>

Flower&green
浜名湖花フェスタ2016

はままつフラワーパーク、浜名湖ガーデンパークほか周辺の観光施設にて開催される「浜名湖花フェスタ」。色とりどりの花々から、春を感じてみよう。
詳しくはP4へ。
開催期間:3/19(土)~6/12(日)
問:浜名湖花フェスタ2016実行委員会 ☎053-487-0152
<http://hamamatsu-daisuki.net/flowerfesta2016/>

music
やらまいかミュージックフェスティバルinはままつ

浜松市民手作りの音楽祭、通称「やらフェス」。2007年からスタートし、今年で10周年を迎える。イベント期間中は、市の中心部各所にステージが設けられ、音楽ジャンル・国籍・プロ・アマを問わないミュージシャンが一堂に会し、熱いライブを繰り広げる。
開催時期:毎年10月の第2土曜・日曜の2日間
※2016年(第10回)は、10/8(土)、9(日)開催
問:やらまいかミュージックフェスティバル実行委員会 E-mail:info@yaramaika-mfes.com <http://www.yaramaika-mfes.com/>

music
浜松市楽器博物館

日本で初めての公立楽器博物館で、2015年に20周年を迎えた。ヨーロッパ古楽器から世界の民族音楽、日本の伝統楽器、近代電子楽器など、約1300点が地域・テーマ・年代別に展示されている。イヤホンガイドで楽器の音色や解説を聞きながら、世界を旅してみよう。
浜松市中区中央3-9-1 ☎053-451-1128
開館時間:9:30~17:00 休館日:第2・4水曜(祝日の場合は翌日)
入館料:大人800円、高校生400円、中学生以下・70歳以上無料
<http://www.gakkihaku.jp/>